

【レジメン名】

XELOX 療法

【適応疾患】

結腸・直腸癌 進行・再発 術前補助 術後補助

【インターバル日数】

1 コース 21 日

【使用抗癌剤】

一般名/ 略号	投与方法	投与時間	投与日
カペシタビン/Cape 2000mg/m ²	経口	2 回/日	day1～day14
オキサリプラチン/L-OHP 130mg/m ²	点滴静注	2 時間	day1

【注射スケジュール】

薬品名	投与量	目的	手技	点滴時間	d1	d2	...	d21	d1
生理食塩液	100mL	吐き気止め	点滴静注	30 分	↓				↓
プロイメド	150mg								
生理食塩液	100mL	吐き気止め	点滴静注	30 分	↓				↓
デキサート	4.95mg								
5%ブドウ糖液	250mL	抗癌剤	点滴静注	2 時間	↓				↓
オキサリプラチン	130mg/m ²								
生理食塩液	50mL	ルートフラッシュ	点滴静注	10 分	↓				↓

【内服スケジュール】

薬品名	投与量	目的	d1	d2	d3	d4	...	d14	...	d21	d1
カペシタビン錠	2000mg/m ²	抗癌剤	↓	↓	↓	↓	↓	↓			↓
1 日 2 回 朝夕食後											
グラニセトロンゼリー	2mg/回	吐き気止め	↓								
デカドロン錠	4mg/日	吐き気止め		↓	↓	↓					
1 日 1 回 朝食後											
ピドキサール錠	30mg/日	手足症候群 の予防	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓
1 日 3 回 毎食後											
ベギンクリーム(尿素クリーム)	1 日 5 回塗布	手足症候群 の予防	連日使用								
1 日 5 回塗布 手足全体											
アンテベート軟膏(ベリーストロング)	1 日 2 回塗布	手足症候群 の治療	症状発現時使用								
1 日 2 回塗布 体・爪周囲の症状発現部位											

【副作用】

《主な副作用》 海外第Ⅲ相臨床試験(NO16967 試験)

神経毒性(71.4%)、悪心・嘔吐(65.9%)、下痢(56.9%)、手足症候群(22.5%)、好中球/顆粒球減少症(18%)、口内炎(13.5%)、発熱性好中球減少症(0.3%)

【薬学的ケア】

- 腎機能障害時には以下の目安を参考にカペシタビンの減量を確認してください。

【重篤な腎障害のある患者】

投与開始前のクレアチニン・クリアランスが30 mL/min未満の患者→**投与禁忌**

【腎障害のある患者】

中等度：投与開始前のクレアチニン・クリアランスが30～50 mL/minの患者→75%用量(減量段階1)で開始

軽 度：投与開始前のクレアチニン・クリアランスが51～80 mL/minの患者→初回減量は不要

- 手足症候群により手足に少しでも痛みを感じた場合(手足症候群 Grade2 以上)には、直近のカペシタビン服用は自己判断で中止し、病院へ連絡するように指導してください。
- 服用忘れや服用中断により残っているカペシタビンは、次回診察時に病院に持参するよう指導してください。